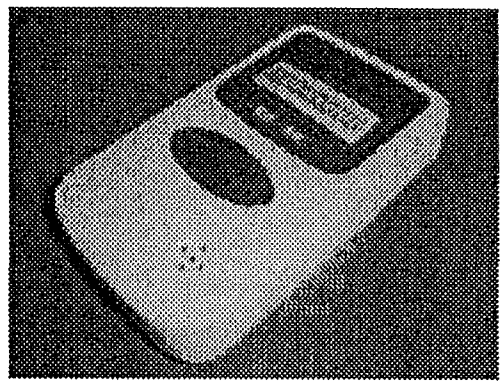
自動監視・異常通報装置

おまもりさんCL-2301

取扱説明書

端末機器技術基準適合認定品

（認証番号 A00−1076 JP）



はじめに

この度は、おまもりさんCL−2301をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品は、一人暮らしの老人の緊急通報や自宅や会社などの異常監視など、あらゆる場所で活用いただけます。
どこにいても異常事態を即座にキャッチ！
使用する人のアイデア次第で多彩な利用価値を得ることができます。
これさえあれば24時間いつでも、どこに居ても安心です。
本製品の真価を充分に発揮させ、長期に渡り最高の性能を維持させるため、ご使用前には必ず本説明書をご一読くださいますようお願いいたします。

目　次

●はじめに
●安全のために――――――――１～２
●警告・注意――――――――３～５
●ご使用前に必ずお読み下さい――６
●機能概要――――――――６
●使用できる電話回線について――６
●こんなことができます――――７
●梱包品の確認――――――――８
●各部の名称――――――――９
●配線接続――――――――１０
●設置方法――――――――１１～１５
●動作設定方法――――――――１６～３１
●設定例――――――――３２～３６
●故障かな？と思ったら――――３７～３８
●表示メッセージ一覧――――３９
●通報メッセージ一覧・仕様――４０
●メモ――――――――４１～４２
●保証書

SYSTEC Corporation

安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使い方をすると火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守り下さい。

◆安全のための注意事項を守る◆

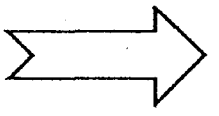
２～６ページまでの注意事項をよくお読み下さい。製品全般の注意事項が記載されています。

◆故障したら使わない◆

すぐに当社お客様相談室または、販売店に修理をご依頼下さい。

◆万一異常が起きたら◆

・煙がでたら
・異常な音、においがしたら
・内部に水、異物が入ったら
・製品を落としたりして破損してしまったら
・電源ケーブルを破損させてしまったら



①ＡＣアダプタをコンセントから抜く
②安全を確認してから当社お客様相談室または、販売店に修理をご依頼下さい

◆警告表示の意味◆

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、**火災・感電**などにより**死亡**や**大けが**などの人身事故につながることがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、**感電**やその他の事故により**けが**をしたり、周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

◆行為を禁止する記号◆

水濡れ禁止

水場での使用禁止

禁止

分解禁止

接触禁止

◆行為を指示する記号◆

強制

ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜く

必ずｱｰｽを接続する

⚠ 警告

◆ＡＣアダプタコードを加工したり、無理に曲げてねじったり、引っ張ったり、加熱しないで下さい。また重い物を乗せたり、熱器具等に近づけないようにご注意下さい。
火災・感電・故障の原因となります。

◆付属のＡＣアダプタ以外を使用しないで下さい。
火災や周囲を汚染する原因となることがあります。

◆付属のＡＣアダプタはＡＣ１００Ｖコンセント専用です。それ以外では、絶対に使用しないで下さい。また電源コードは、たこ足配線にしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。

◆ＡＣアダプタを抜くときはコードを引っ張って抜かないで下さい。必ずＡＣアダプタ本体を持って抜いて下さい。また、痛んだコードやプラグ、差し込みがゆるいコンセントは使わないで下さい。
火災・感電・故障の原因となります。

◆ＡＣアダプタはコードを下側にしコンセントに確実に差し込んで下さい。またＡＣアダプタのプラグにホコリ等が付着している場合はよく拭いて下さい。火災・感電の原因となります。

◆本製品に水が入ったり、濡らさないように、また濡れた手で触れないようにご注意下さい。火災・感電・故障の原因となります。

◆本製品を風呂場等の水場に設置して使用しないで下さい。
火災・感電・故障の原因となります。

◆本製品の開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。

◆本製品を分解、改造しないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。

◆病院内等で使用される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので近くではご使用にならないで下さい。

◆雷が鳴り出したら、ＡＣアダプタや周辺機器の接続部に触れたりしないで下さい。落雷により、感電の原因となります。

⚠ 警告

◆調理台や加湿器のそば等、油煙や湯気があたるような場所、また
湿気やホコリ等が多い場所に置かないで下さい。
漏電して火災・感電・故障の原因となることがあります。

◆万一、水や異物等が本製品の内部に入った場合は、安全を確認した上で
ＡＣアダプタをコンセントから抜き、販売店または、お客様相談室に
ご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

◆万一、本製品を落とす等して破損した場合やＡＣアダプタコードが
傷んだ場合は安全を確認した上でＡＣアダプタをコンセントから抜き、
販売店または、お客様相談室にご連絡下さい。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

◆万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま
使用すると火災・感電・故障の原因となります。安全を確認した上で
すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認
してから販売店または、お客様相談室に修理をご依頼下さい。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

⚠ 注意

◆ぐらついた台の上や傾いたところ等の不安定な場所、また振動や衝撃の多い場所に置かないで下さい。本製品の故障やけがの原因となることがあります。

◆センサーやアース線を本体に接続するときは必ずＡＣアダプタをコンセントから抜いて下さい。
感電や故障の原因となることがあります。

◆直射日光のあたるところや温度が高いところに置かないで下さい。
変色の原因や本製品内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

◆動作温度範囲を超える、極端に暑いところや寒いところでは使用しないで下さい。誤動作・故障の原因となります。

◆小さなお子様が手の届かないところに設置を行い、使用して下さい。
けがの原因となることがあります。

◆壁掛け用として取り付ける場合は、本製品や周辺機器の重み、または設定操作中に落下しないように堅固に取り付けを行って下さい。
本製品の故障やけがの原因となることがあります。

◆雷等サージによる本製品の故障を予防するためにアース線の接続を行って下さい。取り付けられるところは次の部分です。
- ・電源コンセントのアース端子
- ・アース棒等の銅片を６５ｃｍ以上、地中に埋めた端子
- ・その他、第３種接地工事が行われている端子

（端子接続以外の接地工事には、電気工事士の資格が必要です。）
次のようなところには絶対にアース線を取り付けないで下さい。
- ・ガス管、水道管や蛇口、電話専用アース線、避雷針等

（法令等で禁止されています。）

◆本製品を長期間ご使用にならないときは、安全のためにＡＣアダプタをコンセントから抜いて下さい。

◆お手入れの際は安全のためにＡＣアダプタをコンセントから抜いた後行って下さい。お手入れは乾いたタオルなどで拭いて下さい。

◆ご使用前に必ずお読み下さい◆

◆本製品は侵入や各種設備の異常を防止する装置ではありません。
異常／警報の補助呼出し装置としてご使用下さい。

◆お客様または第三者が、本製品の使用誤りや使用中に生じた本製品に起因する故障・誤動作あるいは停電等の外部要因によって生じた事故・人身・経済損害等すべての損害について、当社及び販売会社は、その一切の責任を免責させていただきますので、ご了承願います。

◆本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っておりません。

◆ご使用上の不明点あるいは故障が生じた場合は、お買い求めの販売店または、お客様相談室にお問い合わせ下さい。
（株）システック　お客様相談室
０５３－４２８－４４７３
ご相談受付時間：月曜～金曜　９：００～１６：００
土・日曜日祝・祭日及び弊社規定休日はお休みさせていただきます。

◆万一、故障の際は保証規定に基づき修理させていただきます。

◆本製品を電話回線に接続するとき、接続先がモジュラージャックである場合には、お客様ご自身で作業を行うことができます。それ以外には電気通信事業法で定める工事担当者、または工事担当者の監督のもとで接続を行う必要があります。このような場合は最寄りのＮＴＴ、もしくは電話工事店にご相談下さい。

◆機能概要◆

アナログ式一般電話回線を使用してあらかじめ登録された一般電話回線、携帯電話の連絡先に固定の音声メッセージを通報する装置です。標準添付のマグネットセンサーを使用して、センサー異常感知の有無の確認および、本体のパニックボタンを押すことにより、即通報や、ブザーを鳴らして異常をお知らせします。

◆使用できる電話回線について◆

本製品で使用できる電話回線の種類は下記の通りです。

アナログ式一般電話回線	対応しています。
ＩＳＤＮ回線	本体に接続されていますモジュラーケーブルをターミナルアダプタ（以降ＴＡと呼ぶ）のアナログポートに接続して下さい。ＩＳＤＮ回線やＴＡについて詳しくは、ＮＴＴ（局番無しの１１６番）または、ＴＡの製造元にお問い合わせ下さい。
構内電話回線	２線式／０発信の接続ポートに限り使用できます。

※構内電話回線、ＴＡは極性反転機能有りの装置に限り動作いたします。それ以外は通報動作に機能上の制約が発生致します。

◆こんなことができます◆

★設定を終えている状態でしたらＡＣアダプタをコンセントに差し込むだけですぐに異常監視を始めますので、煩わしさがありません。
※監視または通報やブザーを停止させたい時には、動作設定モードにするか、もしくは電源を抜いて下さい。

★異常の有無を３種類の動作により選択する事ができます。
１．ブザー出力動作　・・・異常感知時に約３０秒間ブザーが鳴り、お知らせします。
２．電話通報動作　・・・異常感知時にあらかじめ登録された通報先に固定のメッセージにて通報します。
３．ブザー・通報動作・・・上記１，２の両方を行います。
※詳細は１８ページ・１９ページ・２０ページ・２６ページをご参照下さい。

★パニックボタンを押すことにより、すぐに異常をお知らせします。
※センサー１・２どちらかの異常入力後にパニックボタンが押された場合でも、パニックボタンの異常通報が最優先になります。

★異常発生時に登録された通報先に自動通報します。
最大３件までの通報先を登録することができます。
※詳細は１８ページ～２０ページをご参照下さい。

★通報先が電話に出なかった場合のリトライ機能があります。
通報先が電話にでなかった場合は通報先が応答するまで最大１０回繰り返します。

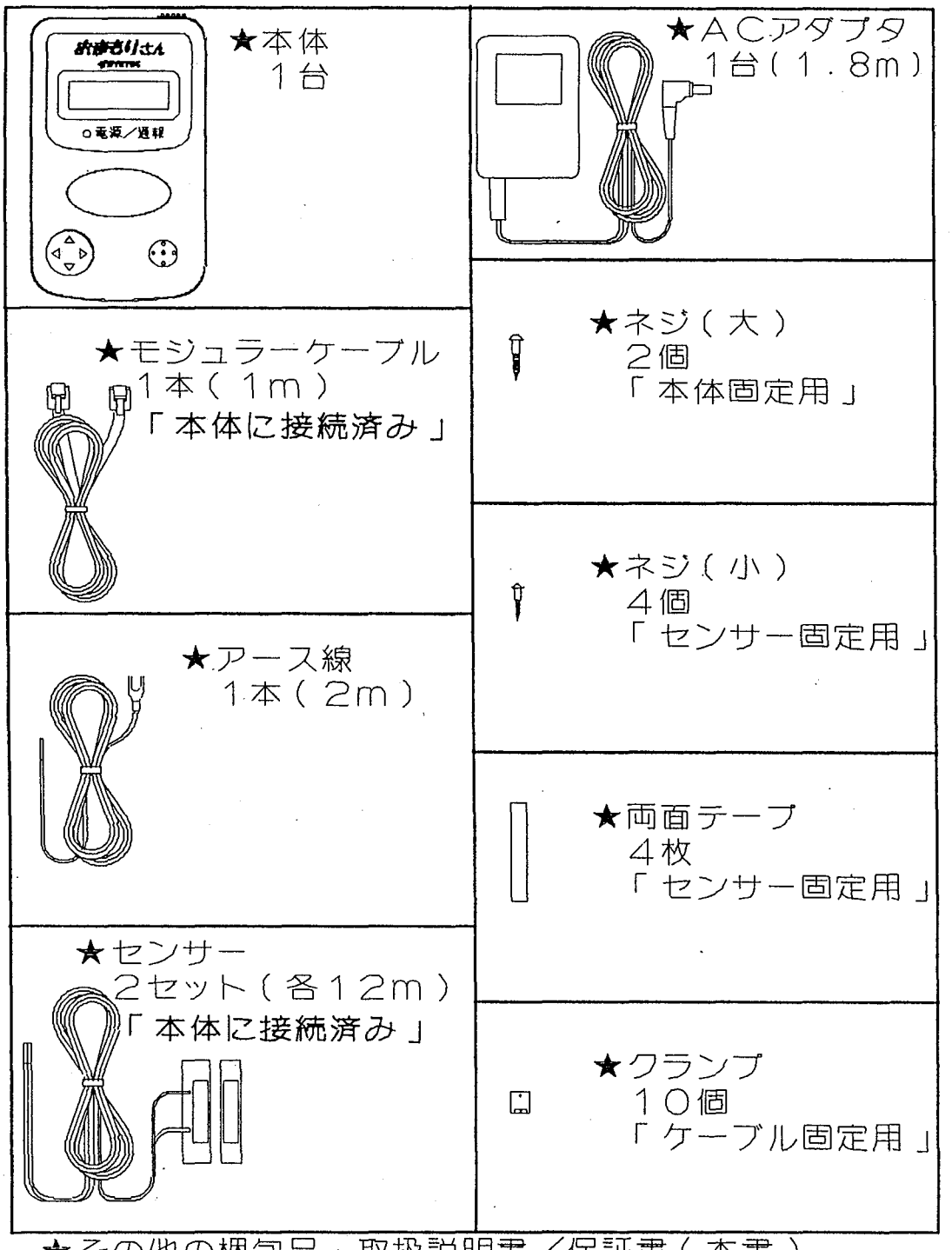
★誤操作防止機能があります。
警報監視→動作設定へのモード移行時には、本体十字ボタンの上下ボタンどちらかを１秒以上押し続けないとモードが切り替わりません。
※詳細は１６ページおよび２８ページをご参照下さい。

★パスワード機能があります。
第三者による動作設定の変更防止のため、本体十字ボタンの上下左右ボタンによる４桁のパスワードを設定できます。
※詳細は２７ページ・２８ページをご参照下さい。

◆梱包品の確認◆

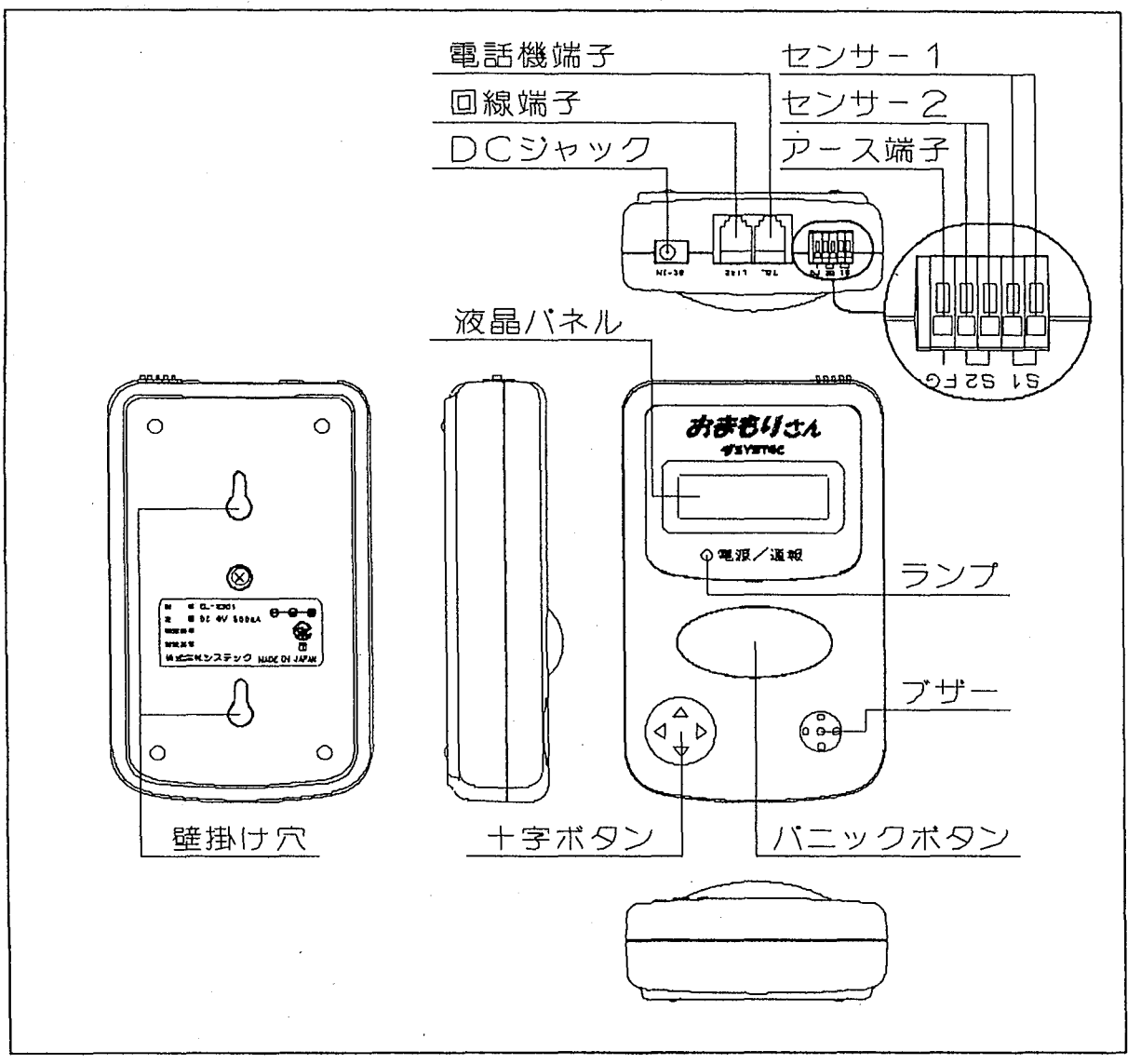
◆梱包を開封しましたら以下のものがすべてそろっているか確認して下さい。万一、欠品・破損等がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡下さい。

◆保証書は製品の「品質保証」をお約束する書類ですので、必ず保証期間、販売店名、その他記載事項をご確認の上、大切に保管して下さい。



★その他の梱包品：取扱説明書／保証書（本書）
ビデオテープ

◆各部の名称◆



★十字ボタン　：モードの切り替え、動作設定モードの設定入力を行います。
（上下左右４方向の入力が可能です）

★パニックボタン　：動作設定モードの設定入力、緊急通報に使用します。

★ブザー　：異常感知時にブザーを鳴らします。（鳴らす、鳴らさないの選択が可能です）

★ランプ　：電源ランプとして通常時は点灯、監視異常時の通報期間中は点滅を行います。

★液晶パネル　：本製品の状態表示、動作設定モード時は設定表示を行います。

★DCジャック　：本製品の電源入力です。（ACアダプタ使用）

★回線端子　：電話回線に接続します。詳細は6ページの「使用できる電話回線について」をご参照下さい。（ブザー使用のみで通報を行わない場合は接続不要です。）

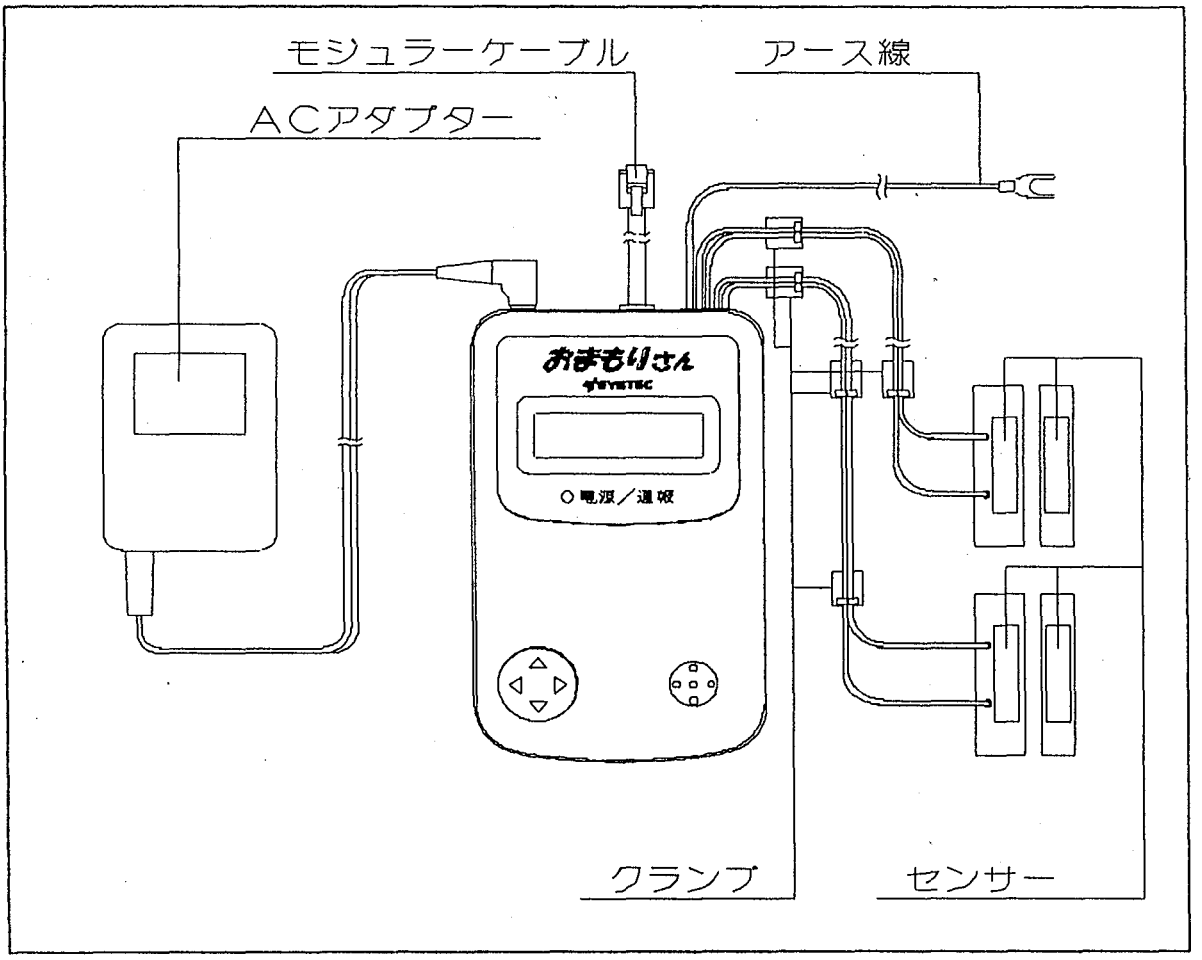
★電話機端子　：今まで使用していた電話機に接続します。
（ブザー使用のみで通報を行わない場合は接続不要です。）

★アース端子　：過電流による本製品故障を予防するための接地端子です。

★センサー1，2　：監視を行うセンサーの接続端子です。

★壁掛け穴　：壁掛け設置等を行う際に使用します。

◆配線接続◆



★ＡＣアダプタ：付属のＡＣアダプタを電源コンセントに差し込むことで本製品が起動します。
※必ず、配線接続が終わってから電源を入れて下さい。

★モジュラーケーブル：今まで使用していた電話機に接続します。
（ブザー使用のみで通報を行わない場合は接続不要です。）

★アース線　：電源コンセントのアース端子等に接続します。
※接続しなくても本製品の動作には影響ありませんが、雷等サージによる故障を予防するために接続することをお勧めします。**詳細は１５ページの「アース線の接続・設置方法」をご覧下さい。**
※作業の際は、５ページの注意を必ずご覧になってから行って下さい。

★センサー　：ドア等に設置して監視に使用するマグネットセンサーです。
センサーをご使用にならない方は本体からセンサーを取り外して下さい。
詳細は１２ページの「センサー設置方法」をご覧下さい。
※付属のマグネットセンサーは本体に取り付けてあります。

★クランプ　：アース線もしくはセンサーケーブル固定用として、必要に応じて使用して下さい。

◆設置方法◆

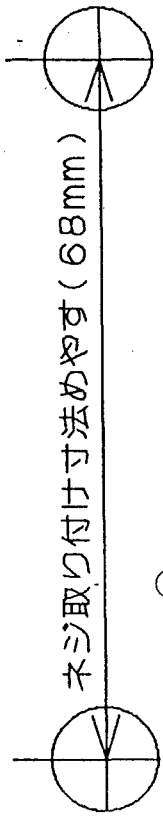
◇本体設置方法◇

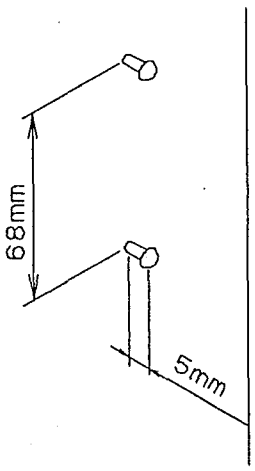
本製品は壁掛けもしくは台等に置いてご使用していただく２種類の設置方法があります。
用途に合わせて設置して下さい。

★壁掛け設置してご使用の場合

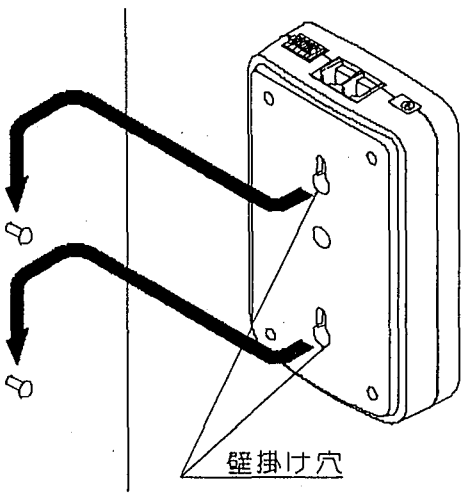
壁に掛けて設置される場合は以下の手順を参考に行って下さい。
不安定な場所、また振動や衝撃の多い場所に設置しないで下さい。けがや故障の原因となります。

① 付属ネジ(大)を下記の間隔で壁等に取り付けて下さい。
※本体が簡単に抜け落ちないようにネジの高さ調整を行って下さい。
ネジの取り付け間隔は左記の印を元に取り付けを行って下さい。





② 本体背面の壁掛け穴にネジ位置をあわせて、引っかけるように設置して下さい。
※本体が簡単に抜け落ちないことを確認して下さい。



★台等に設置してご使用の場合

本製品の設置場所は水平を保っているところで使用して下さい。
ぐらついた台の上や傾いたところ等の不安定な場所、また振動や衝撃の多い場所に置かないで下さい。けがや故障の原因となります。

◇センサー設置方法◇

付属のマグネットセンサーの設置方法は両面テープでの固定および、ネジ固定での２種類の設置方法があります。用途に合わせて設置して下さい。
※センサーを使用しない場合は本体よりセンサーを外して下さい。

★センサーの取り外し方法

「Ｓ１」または「Ｓ２」と書いてある端子の端子部のボタンを押しながら、センサーを抜き取り、ボタンを離して下さい。センサーはご使用ならないものだけを本体から外して下さい。
※センサーを取り外した場合は、２０～２２ページの設定内容を必ずお読みになり、設定を変更して下さい。変更しないと本製品は監視直後に異常状態であると判断します。

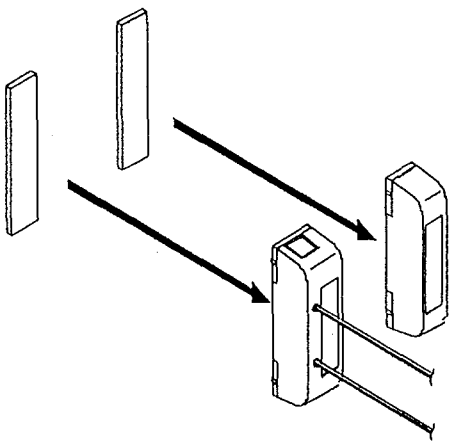
★センサーの接続方法

「Ｓ１」もしくは「Ｓ２」と書いてある端子の端子部のボタンを押しながら銅線を挿入してボタンを離して下さい。銅線が固定されます。

★両面テープでの設置にてご使用の場合

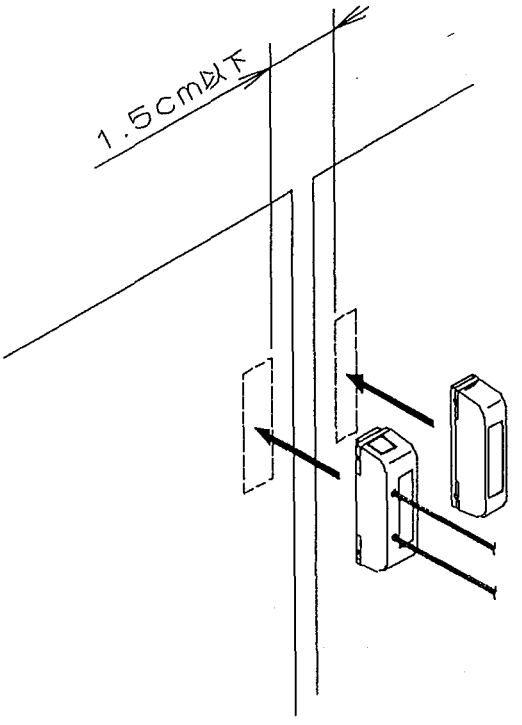
両面テープにて設置される場合は以下の手順を参考に行って下さい。
不安定な場所、また振動や衝撃の多い場所に設置しないで下さい。けがや故障の原因となります。
※両面テープ使用時に固着がうまく出来ない場合は、市販の強力タイプを別途、お買い求め下さい。

① 各センサーにそれぞれ両面テープを貼り付け、上から強く押さえつけて下さい。

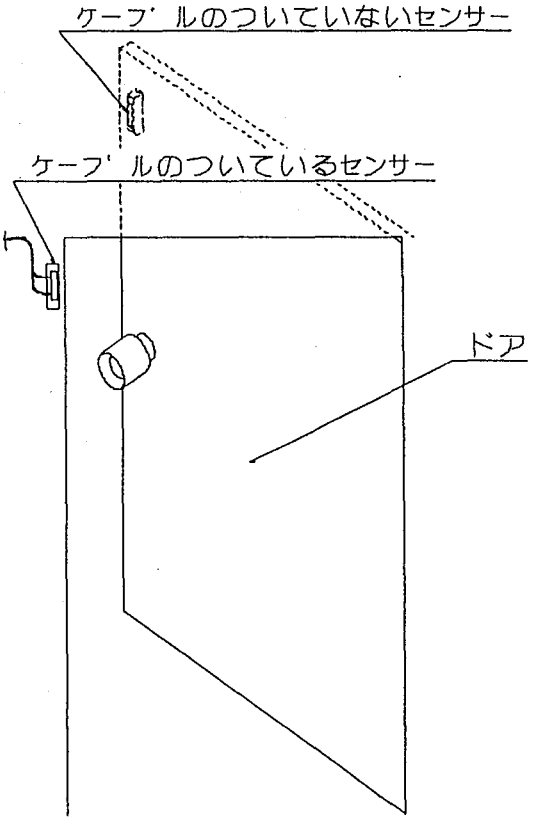


② 設置場所の汚れやほこりをとり、センサー同士の間隔が１．５ｃｍ以下になるように貼り付け、上から強く押さえつけて下さい。

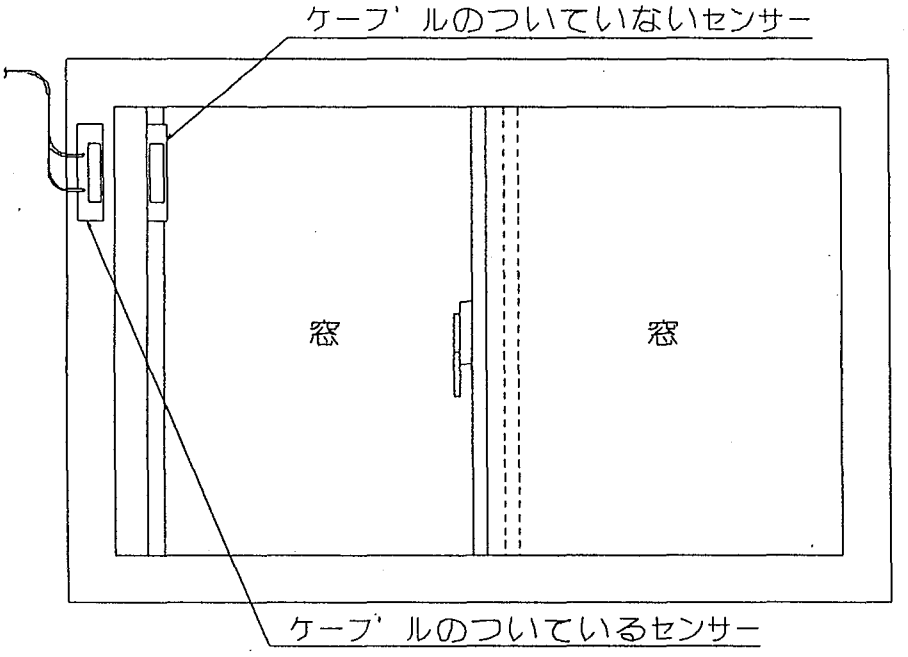
※ケーブルのついているセンサーを固定部に、ケーブルのついていないセンサーを可動部に設置して下さい。



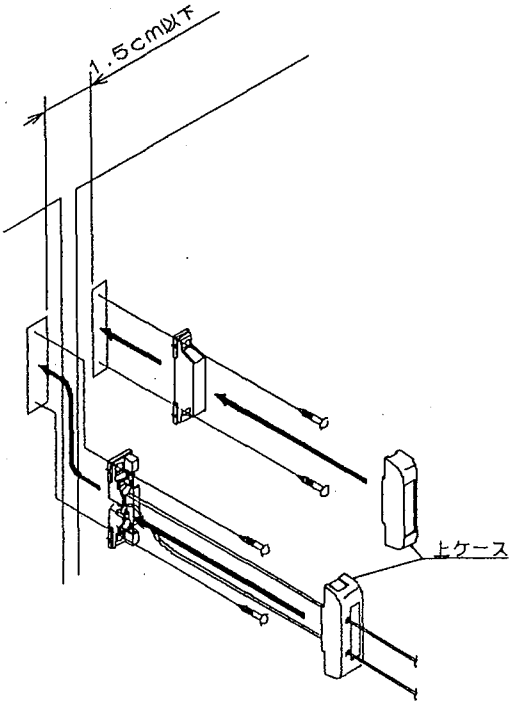
例）ドアにセンサーを設置する場合



例）窓にセンサーを設置する場合



★ネジ固定にて設置してご使用の場合
ネジ固定にて設置される場合は下記の絵を参考に、上ケースを外してから行って下さい。
※センサーが簡単に外れたり、ガタついたりしないようにネジは堅固に取り付けを行って下さい。
けがや故障の原因となります。



◇アース線の接続・設置方法◇

アース線は過電流による本製品の故障を予防するための接地端子ですので、設置をお勧めいたします。下記の内容を参照し、必要に応じて接続・設置を行って下さい。

① 本体へアース線を接続します。
被覆の切り込みが入っているところを引っ張って、被覆を取り除き、銅線をよじり、「ＦＧ」と書いてある端子の端子部のボタンを押しながら銅線を挿入してボタンを離して下さい。銅線が固定されます。
※被覆とは、アース線の緑色のゴム素材のものです。先端になにもついていない方に切り込みが入っていますので、切り込みから先端側をよじりながら引っ張ると、中の銅線がよじられて、簡単に取り除けます。

②下記の内容を参考に設置を行って下さい。
アース線を設置できるところ。
・電源コンセントのアース端子
・アース棒等の銅片を６５ｃｍ以上、地中に埋めた端子
・その他、第３種接地工事が行われている端子
※端子接続以外の接地工事には、電気工事士の資格が必要です。
アース線を設置できないところ。
・ガス管、水道管や蛇口、電話専用アース線、避雷針等
※法令等で禁止されていますので、絶対にアース線を取り付けないで下さい。

◆本体へＡＣアダプタを接続する◆

各設置が間違いないことを１０ページの「配線接続」を参考に確認して下さい。
設置に間違いないことが確認後、本体ＤＣジャックにＡＣアダプタを接続し、ＡＣアダプタをコンセントへ差し込んで下さい。
※ＡＣアダプタの接続作業の際は、３ページの警告を必ずご覧になってから行って下さい。
※センサーを接続している場合はセンサー同士を離さない状態でＡＣアダプタをコンセントに差し込んで下さい。センサー同士が離れていますと監視直後に異常状態だと判断します。

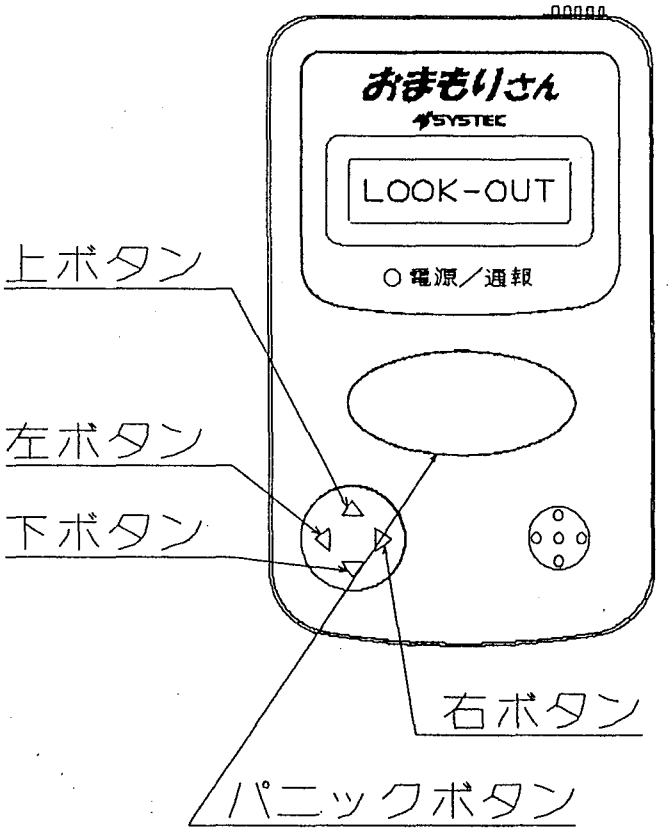
◆本体の動作確認◆

本製品はＡＣアダプタをコンセントに差し込むことにより動作し、設定確認を行います。
本体液晶パネルをご確認下さい。液晶パネルに「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と表示すれば正常に機能していますが「ＳＥＴ－ＵＰ」もしくは「ＥＲＲＯＲ」を表示し、画面が変わらなかった場合はお買い求めの販売店または、当社お客様相談室にお問い合わせ下さい。
詳細は３８ページの「エラー表示の一覧」をご参照下さい。

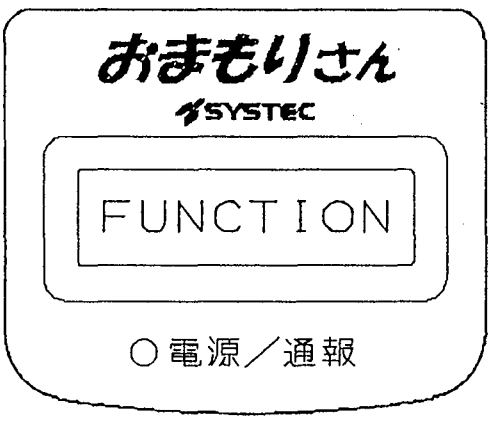
◆動作設定方法◆

★動作設定画面への切り替えの方法

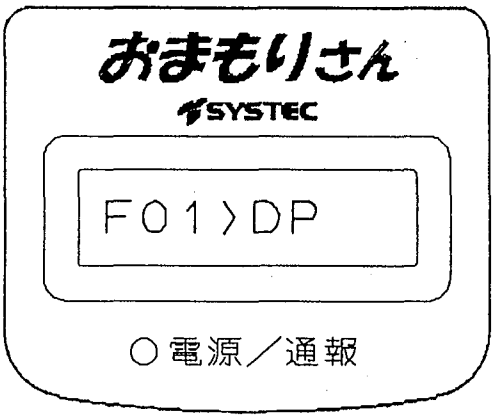
① 本体十字ボタンの上ボタンまたは、下ボタンを１秒以上押し続けて下さい。
※センサーを１つでも使用しない場合は「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と一瞬表示した後、すぐにブザーが鳴りますが、これは正常動作ですので、以降の設定を変更することで鳴らなくなります。



② 本体の液晶パネルが「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示されていることを確認し、再度本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。

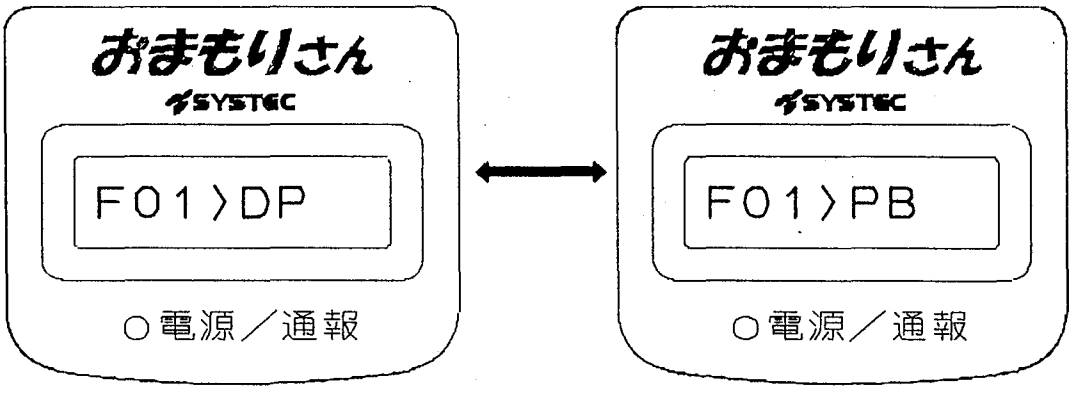


③ ファンクションＮｏ．０１：電話発信方式の選択



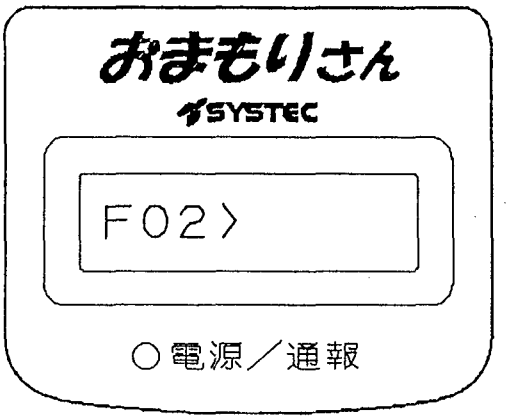
◇ダイヤル回線の「ＤＰ」または、プッシュ回線の「ＰＢ」のどちらかを選択して下さい。
出荷時は「ＤＰ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※本製品が異常を感知して通報をする時に、この設定が間違っていると表示画面は通報画面（ＴＥＬ－ＮＯ．１等）の表示は出ますが実際の通報はされません。
必ず電話回線の種類を確認し、設定して下さい。電話回線の発信方式が不明の場合は契約されている電話会社へお問い合わせ・ご確認して下さい。

★「ＤＰ」「ＰＢ」の切り替えの方法
本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。



ダイヤル回線「ＤＰ」　　プッシュ回線「ＰＢ」

④　ファンクションＮｏ．０２～０４：通報先電話番号の登録



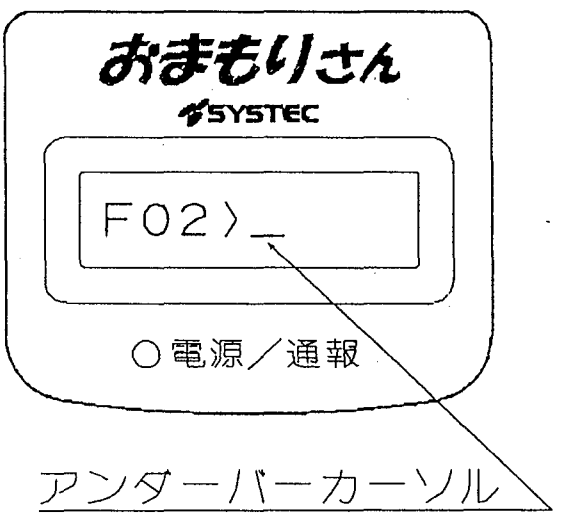
◇通報先は最大で３件まで登録できます。下記の内容を参考に通報先の設定をして下さい。
通報先を登録されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

通報機能を使用しない	「Ｆ０２」「Ｆ０３」及び「Ｆ０４」の設定は不要です
通報先を１件にしたい	「Ｆ０３」及び「Ｆ０４」は設定不要です
通報先を２件にしたい	「Ｆ０４」は設定不要です
通報先を３件にしたい	「Ｆ０３」及び「Ｆ０４」を「Ｆ０２」の設定と同じ手順で設定して下さい

※通報先に警察署又は消防署等を登録しないで下さい。その他公共施設、病院等を通報先に登録される時は、登録しようとしている場所に確認をして下さい。

★通報先電話番号の入力方法

１）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ０２＞」表示横に下図のようにアンダーバーカーソルが点滅表示されます。

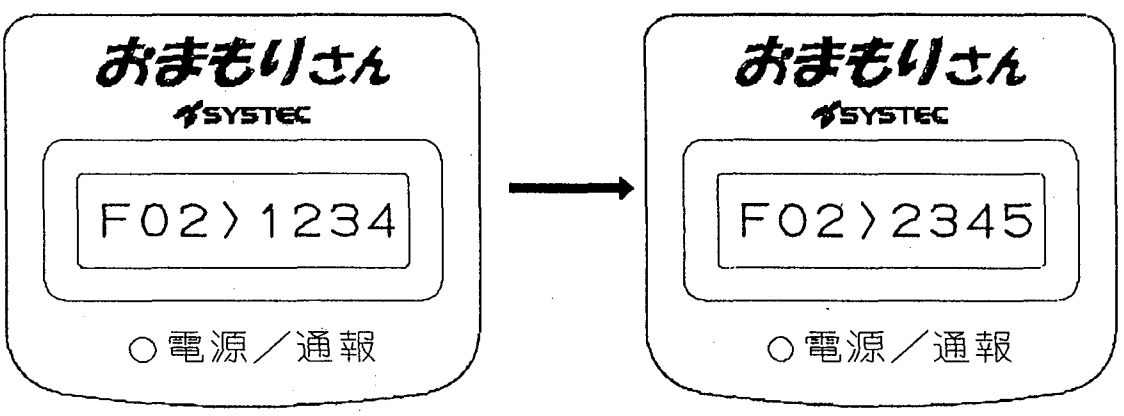


2）本体十字ボタンの上ボタンまたは、下ボタンを順次押していくと、数字が順次表示されていきます。通報先の電話番号の１桁目に該当する数字になるまで、順次を押して下さい。
該当する数字が表示されたら、本体十字ボタンの右ボタンを
押して、同じように通報先の電話番号の２桁目以降を入力して下さい。誤って右ボタンを押してしまった時は、左ボタンを押してもう一度数字の入力を行って下さい。

※通常は通報先電話番号の登録時に「－」入れないで下さい。下記の内容をご参照の上登録して下さい

	正しい	間違い
通常登録時	０５３４２８４４７３	０５３－４２８－４４７３
０発信での登録時	０－０５３４２８４４７３	０－０５３－４２８－４４７３ ００５３４２８４４７３

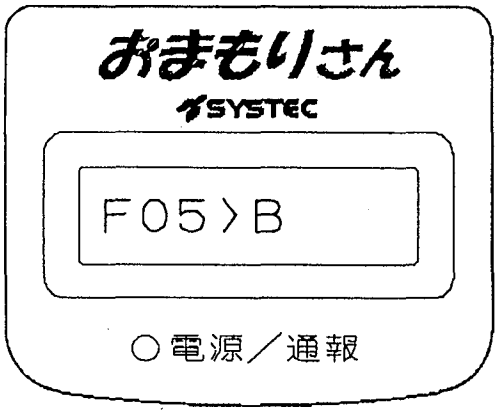
※５桁目以降の入力は先に入力していた数字（例えば入力しているのが５桁目ならば１桁目）が本体の液晶パネル部に表示されません。



3）通報先電話番号入力が終わりましたら、本体のパニックボタンを押して下さい。
入力された電話番号が間違っていないことを本体十字ボタンの右ボタンを順次押していき、確認して下さい。正しく入力されているときはそのまま本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。間違っていた場合は、２）の最初から同じように１桁目から入力して下さい。

★通報先電話番号の消去方法
本体液晶パネル部に登録を削除したい電話番号が入力されているファンクションＮｏ．を表示させ、本体のパニックボタンを２回押して下さい。登録されていた電話番号が消去されます。

⑤　ファンクションＮｏ．０５：本体「Ｓ１」に接続されているセンサーの監視異常状態の設定

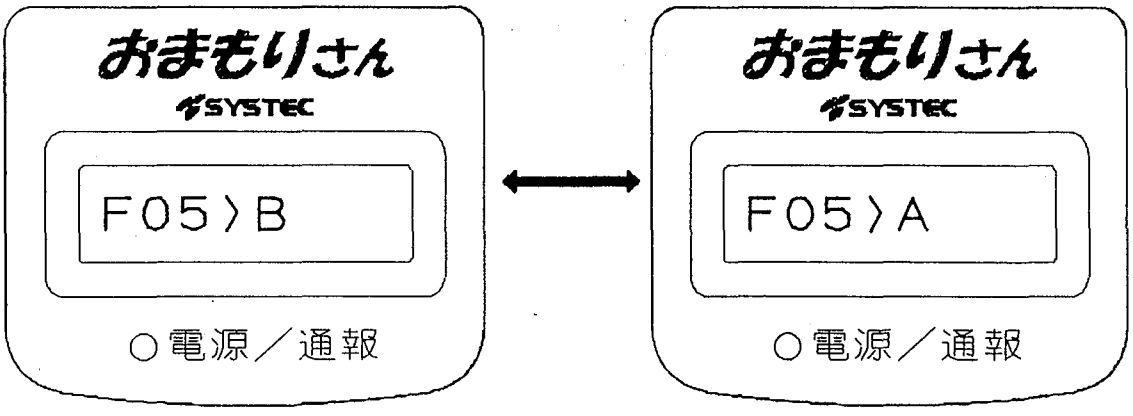


◇監視状態には次の２種類があります。

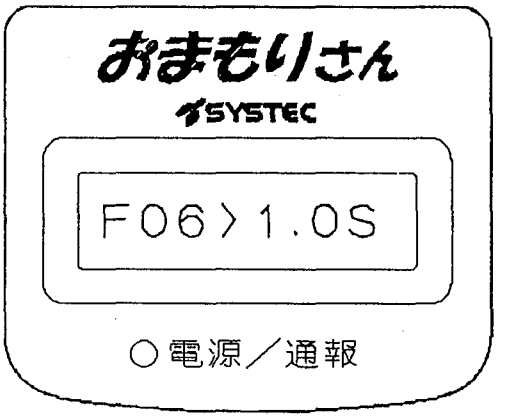
設定 A	マグネットセンサー同士が近づいた時に異常だと判断する。
設定 B	マグネットセンサー同士が離れた時に異常だと判断する。

出荷時は「設定Ｂ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※センサーを使用されない場合は「設定Ａ」に設定を変更して下さい。
設定を変更しないと本製品は監視直後に異常状態であると判断します。

★「設定 A」「設定 B」の切り替えの方法
本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。

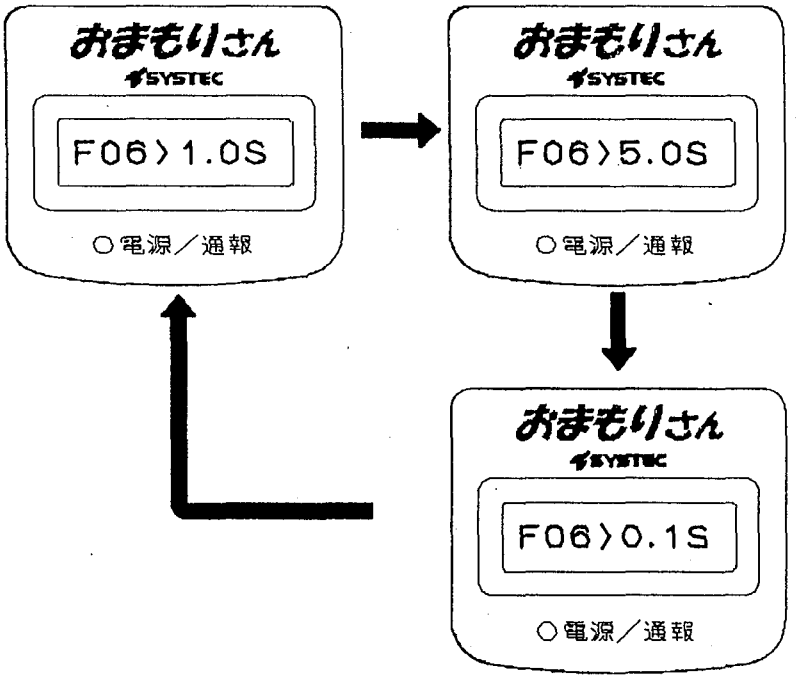


⑥ ファンクションNo．０６：ファンクションNo．０５で設定したセンサー「Ｓ１」の監視異常と判断するまでの時間設定

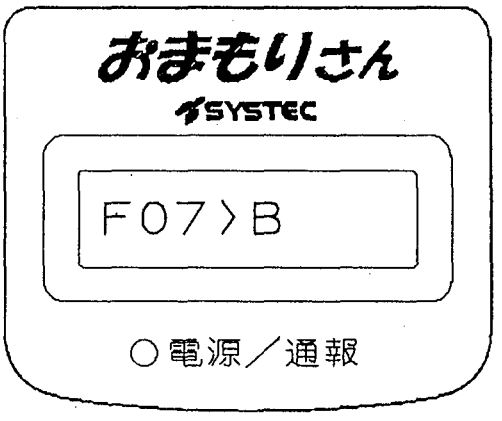


◇設定できる時間は「１．０Ｓ（秒）」「５．０Ｓ」「０．１Ｓ」の３種類です。
例えば「５．０Ｓ」に設定しますと、センサーの異常状態が５秒以上継続しないと本製品は異常と判断しません。出荷時は「１．０Ｓ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※センサーを使用されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

★「１．０Ｓ」「５．０Ｓ」「０．１Ｓ」の切り替えの方法
本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。

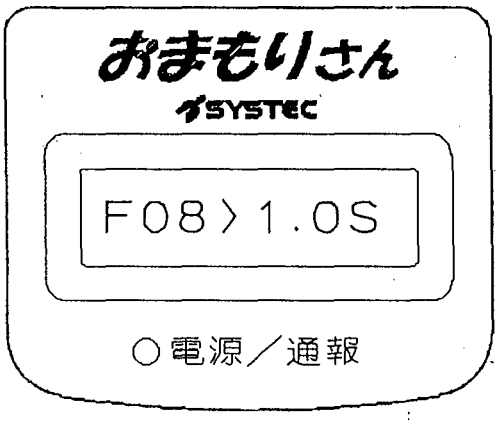


⑦　ファンクションＮｏ．０７：本体「Ｓ２」に接続されているセンサーの監視異常状態の設定



◇設定内容及び手順は⑤のファンクションＮｏ．０５と同じですので、⑤を参照して設定を行って下さい。出荷時は「Ｂ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※センサーを使用されない場合は「設定Ａ」に設定を変更して下さい。
設定を変更しないと本製品は監視直後に異常状態であると判断します。

⑧　ファンクションＮｏ．０８：ファンクションＮｏ．０７で設定したセンサーの監視異常と判断するまでの時間設定



◇設定内容及び手順は⑥のファンクションＮｏ．０６と同じですので、⑥を参照して設定を行って下さい。出荷時は「１．０Ｓ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※センサーを使用されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

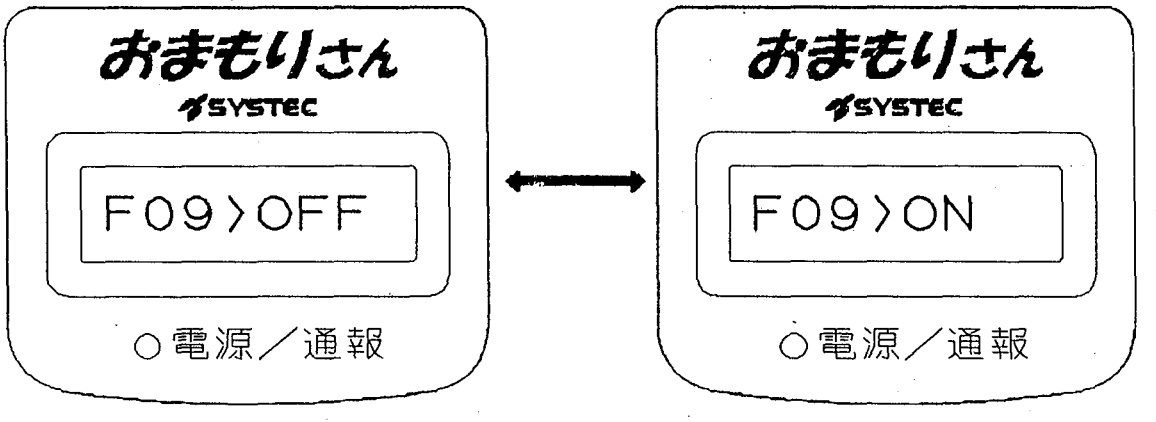
⑨ ファンクションNo. ０９：リダイヤル設定

◇この機能は通報先が電話を受けてメッセージを聞いても、もう一度約５分の間隔を置いて同じ通報先に電話をかけるリダイヤル機能です。つまり、通報を２重化し、確実にするための機能です。出荷時は「ＯＦＦ」です。この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

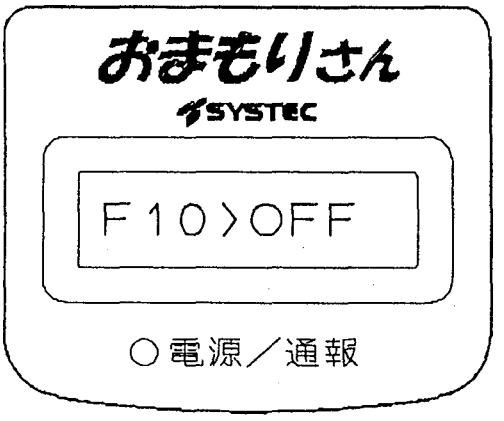
※本製品は通報先が電話にでなかった場合、通報先が電話にでるまで最大１０回まで呼び出しを繰り返すリトライ機能を標準機能として持っています。

★「ＯＦＦ」から「ＯＮ」への切り替えの方法

本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。



⑩　ファンクションＮｏ．１０：監視を始めるまでの時間設定

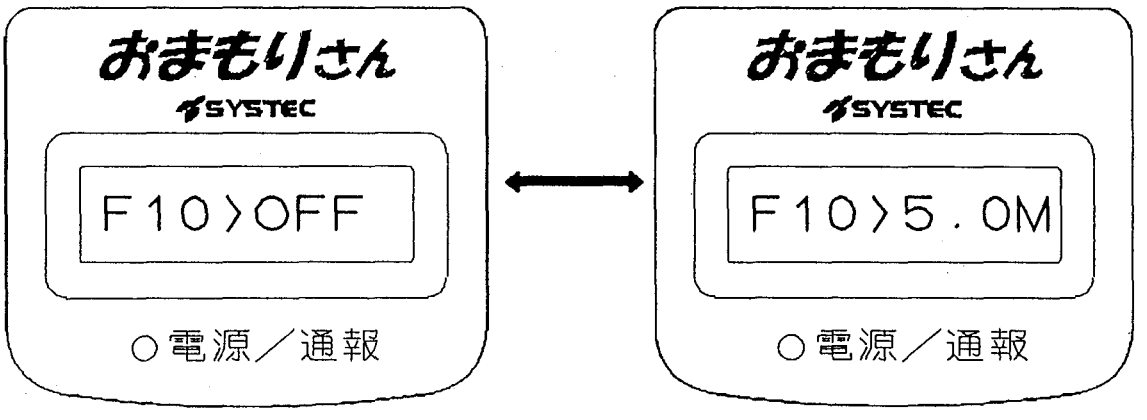


◇設定できる時間は「ＯＦＦ（すぐに監視開始）」と「５．０Ｍ（分）」の２種類です。
例えば、「５．０Ｍ」に設定しますと、本製品が監視状態に入ると、本体の液晶パネル部に「ＴＩＭＥ—５：００」と表示されて監視開始までのカウントダウン表示がされます。
本体の液晶パネル部の表示が「ＴＩＭＥ—０：０１」と表示された後「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」表示に変わった時から監視を開始します。出荷時は「ＯＦＦ」です。この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

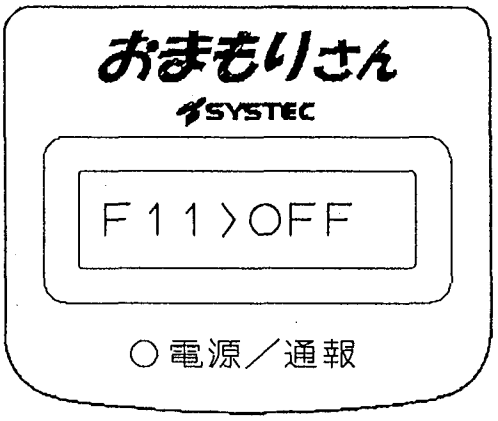
※センサーを１つも使用しない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

※カウントダウン中にパニックボタンを押すと、カウントダウンは中止され、即通報または、ブザーが鳴ります。後にでてくるファンクションＮｏ．１４を設定されているときは、パニックボタンを押しても、通報もしくはブザーは鳴りません。そのまま、カウントダウンを続けます。

★「ＯＦＦ」から「５．０Ｍ」への切り替えの方法
本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。



⑪　ファンクションＮｏ．１１：通報するまでの時間設定



◇センサーが異常を感知してから通報するまでの時間設定で、設定できる時間は「ＯＦＦ（すぐに通報開始）」と「１．０Ｍ（分）」「３．０Ｍ」の３種類です。例えば、「３．０Ｍ」に設定しますと、本製品が異常を感知し、通報を開始するまで、本体の液晶パネル部に「ＴＩＭＥ—３：００」と表示されて通報開始までのカウントダウン表示がされます。本体の液晶パネル部の表示が「ＴＩＭＥ—０：０１」と表示された後、通報を開始し、同時にブザーが鳴ります。出荷時は「ＯＦＦ」です。この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

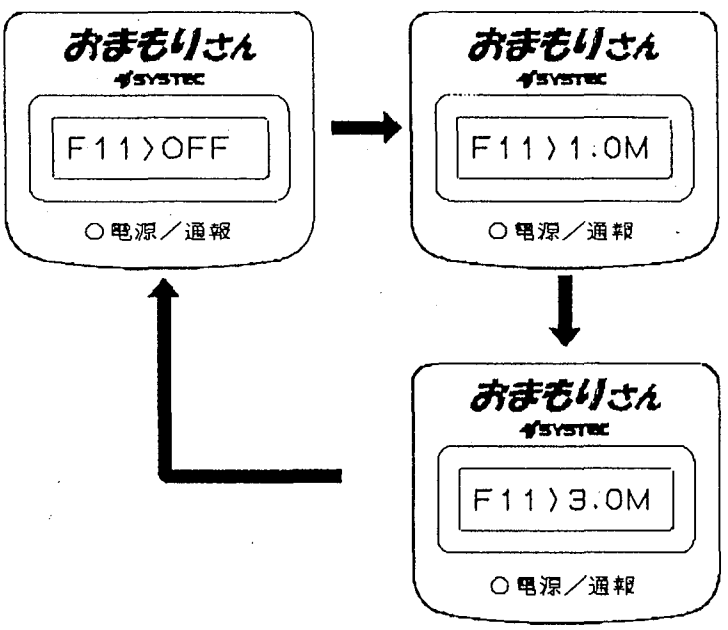
※通報先を設定されていない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

※カウントダウン中にパニックボタンを押すと、カウントダウンは中止され、即通報または、ブザーが鳴ります。

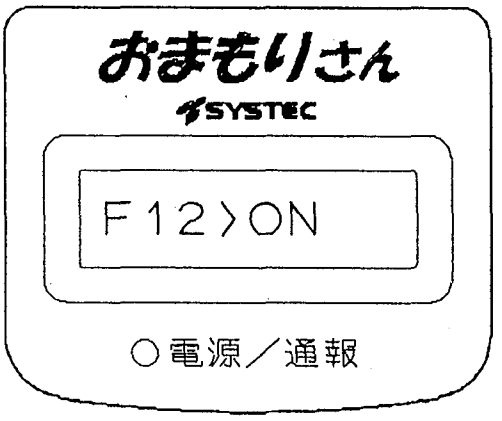
※カウントダウン中に他のセンサーが異常になったときは最初に異常になったセンサーの通報をした後に次に異常になったセンサーの通報を始めます。また、ファンクションＮｏ．１２を「ＯＦＦ」にしていると、ブザーは鳴りません。

★「ＯＦＦ」「１．０Ｍ」「３．０Ｍ」の切り替えの方法

本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。



⑫ ファンクションＮｏ．１２：異常感知時にブザーを鳴らすか、鳴らさないかの設定

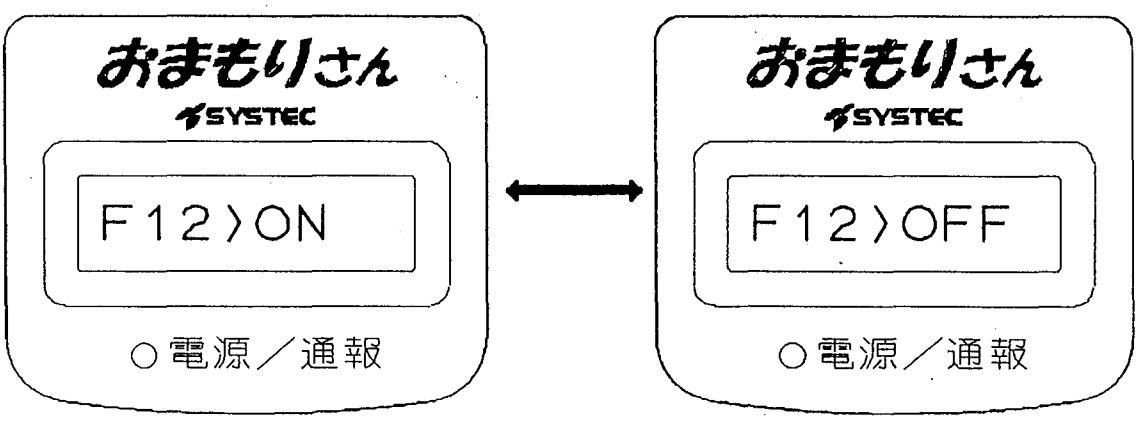


◇「ＯＮ」に設定すると、本製品が異常を感知したと同時にブザーが約３０秒間鳴り続けます。
出荷時は「ＯＮ」です。設定を変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して
次の設定に移って下さい。

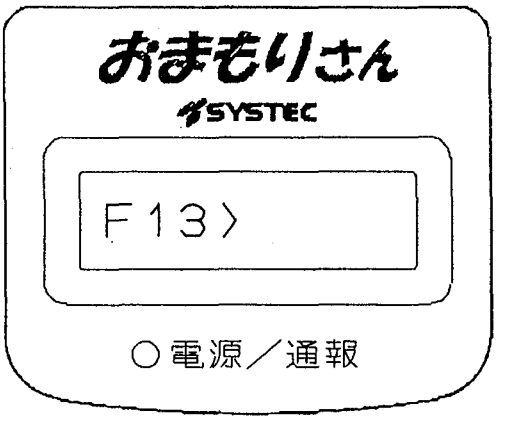
※通報先を１件も登録されていない場合は設定を変更しないで下さい。通報先を登録せずに
本設定を「ＯＦＦ」にしたまま、「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」画面から「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」画面
に切り替えると、通報条件が設定されていないため本体の液晶パネル部に
「ＥＲＲＯＲ－０１」と点滅表示して監視状態になりませんのでお気をつけ下さい。
設定変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

※ファンクションＮｏ．１１を設定されている場合は、設定された時間のカウントダウンが
終わった後、ブザーが鳴ります。

★「ＯＮ」「ＯＦＦ」の切り替えの方法
本体のパニックボタンを押すことにより設定が切り替わります。選択し終えたら本体十字
ボタンの下ボタンを押して下さい。



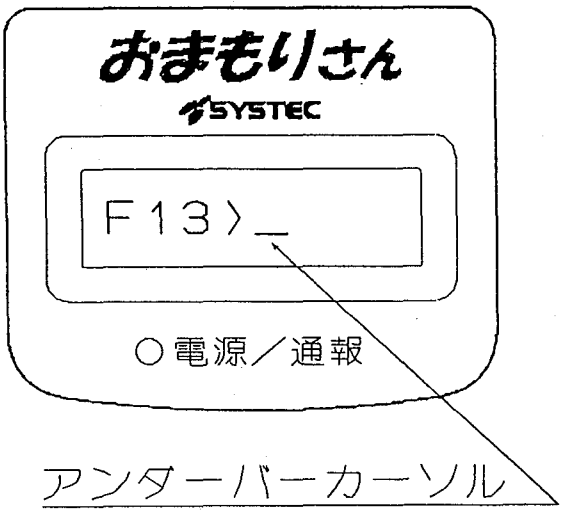
⑬ ファンクションNo. １３：パスワードの設定

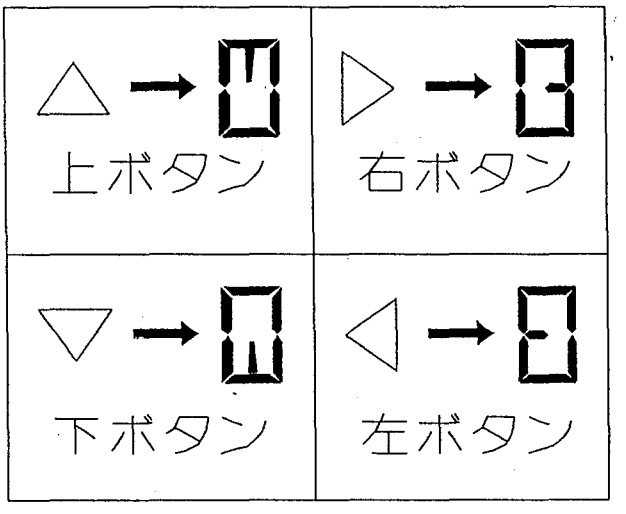


◇本製品の設定を第三者に勝手に変更されないようにするためのパスワードの設定です。
パスワードは本体十字ボタンの上下左右ボタンの４つを組み合わせて設定します。
出荷時は「設定無し」です。この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの
下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※パスワードの組み合わせは全部で２５６パターンあり、設定されたパスワードを忘れてしまうと、設定変更ができなくなってしまいますので、必ず忘れないようにどこかに控えておくようにして下さい。設定変更されない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

★パスワードの入力方法

１）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ１３＞」表示横に下図のようにアンダーバーカーソルが点滅表示されます。





２）本体十字ボタンの上下左右ボタンを使って設定したいパスワードを入力します。
誤ったパスワードを入力してしまったときは、４桁入力し終わってから、本体のパニックボタンを押して下さい。入力されたパスワードがすべて消去されますので、もう一度最初からパスワードを入力して下さい。
設定が終わりましたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。
※パスワードは必ず４桁入力して下さい。

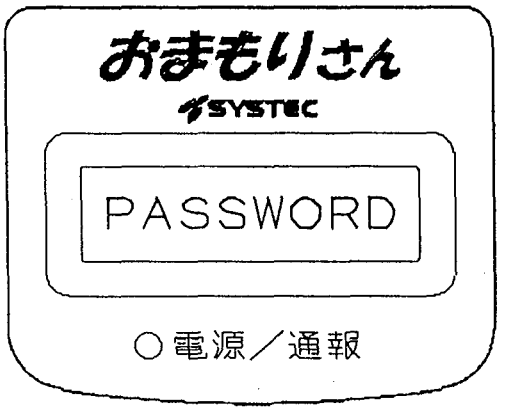
★パスワードの消去方法

本体液晶パネル部にファンクションＮｏ．１３を表示させ、本体のパニックボタンを２回押して下さい。登録されていたパスワードが消去され、パスワードは無効になります。

★パスワードの使用方法

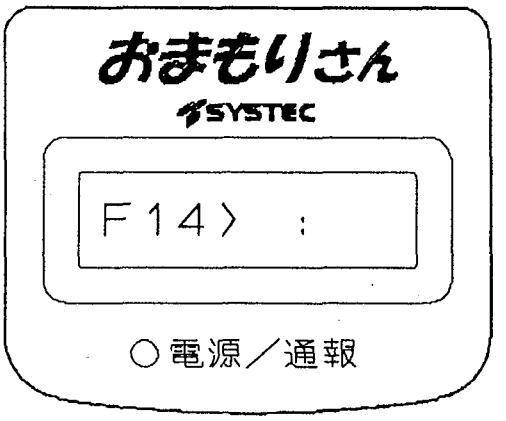
設定したパスワードを使用する場合は、下記の手順で行って下さい。
ここでは、パスワードを設定された方を対象としています。

１）本体十字ボタンの上ボタンまたは、下ボタンを１秒以上押し続けて下さい。
本体の液晶パネル部に下図のように「ＰＡＳＳＷＯＲＤ」と点滅表示されます。



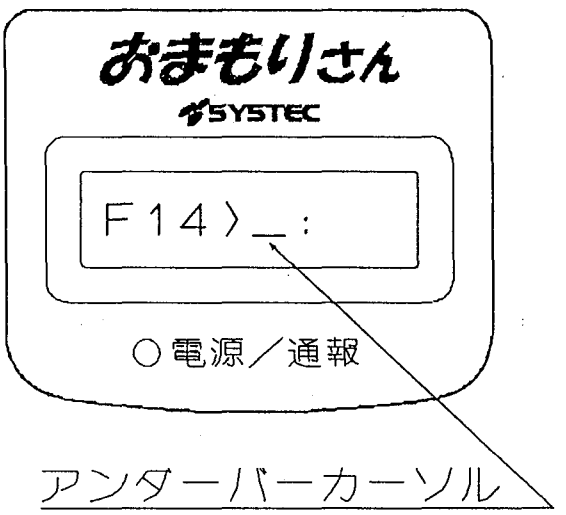
２）１０秒以内に本体十字ボタンの上下左右ボタンを使って、設定したパスワードを入力しますと、本体の液晶パネル部に「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示されます。誤ったパスワードを入力した時は、本体の液晶パネル部に「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と表示された状態でもう一度手順１）から同じ手順でパスワードを入力して下さい。

⑭ ファンクションＮｏ．１４：おまもり機能の設定



◇設定された時間内にパニックボタンが押されなかった場合もしくは、センサーが反応しなかった場合に登録された通報先に通報する、もしくはブザーを鳴らす機能です。
設定された時間内にパニックボタンが押された、もしくは、センサーが反応した場合は通報されません。本製品が反応有りと判断した時、設定された時間のタイマーがリセットされ、また同じようにパニックボタンが押されたか、もしくは、センサーが反応したかを監視します。この機能を設定している場合は設定を解除しない限り続きます。設定できる時間は１分から８時間５９分までの間で設定できます。出荷時は「設定無し」です。
※通報先を設定されていないお客様、また、この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。
※設定時間は目安としてご使用下さい。

★設定時間の入力方法
１）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ１４＞」表示横に下図のようにアンダーバーカーソルが点滅表示されます。



２）本体十字ボタンの上ボタンまたは、下ボタンを順次押していくと、数字が順次表示されていきます。該当する数字になるまで、順次押して下さい。該当する数字が表示されたら、本体十字ボタンの右ボタンを押して、同じように該当する数字になるまで、上ボタンまたは、下ボタンを押していき、時間を設定して下さい。誤って右ボタンを押してしまった時は、左ボタンを押してもう一度数字の入力を行って下さい。設定し終えたら本体十字ボタンの下ボタンを押して下さい。

※１分～５９分の間での間に設定される場合は一番最初の数字は「０」にして下さい。

※１桁目または、２桁目を入力された時点で本体のパニックボタンを押しますと、自動的に３桁目は「０」と、登録されます。

※「０：００」と入力した場合は「設定無し」と同じ意味になります。

★設定時間の変更・解除方法

おまもり機能の設定時間を変更したい時または、おまもり機能の使用をやめたい場合は、下記の

手順で行って下さい。ここでは、おまもり機能を設定された方を対象としています。

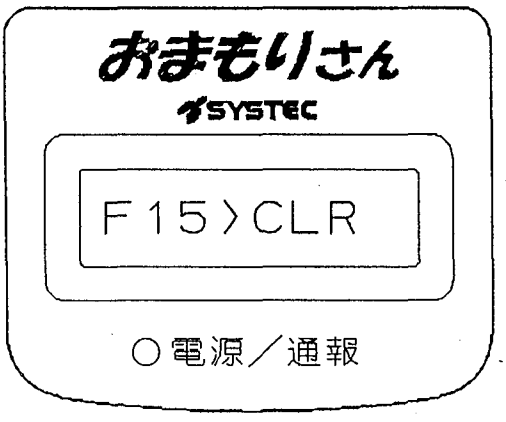
◇変更方法◇

１）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ１４＞」表示横にアンダーバーカーソルが点滅表示されます。この状態で変更したい時間を本体十字ボタンで変更して下さい。

◇解除方法◇

１）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ１４＞」表示横に設定した時間が表示されます。この状態で「０：００」となるように、本体十字ボタンで入力をされるか、もう一度、本体のパニックボタンを押していただくと、設定時間は消去されます。

⑮　ファンクションＮｏ．１５：設定内容を出荷時の初期設定に戻す機能

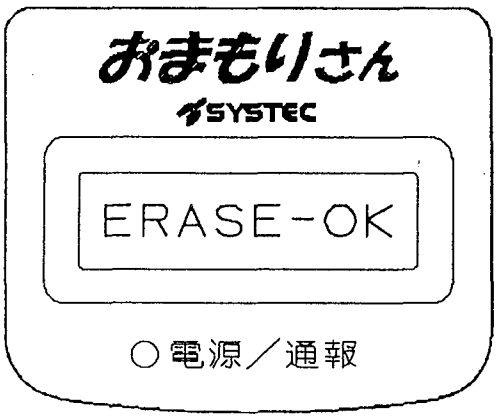


◇ファンクションＮｏ．１～ファンクションＮｏ．１４で、設定してきた内容をすべて消去し、出荷時の設定に戻します。この機能をご使用にならない場合は本体十字ボタンの下ボタンを押して次の設定に移って下さい。

※いままでの設定情報がすべて消えてしまうため、操作には十分注意をお願いします。

★出荷時の設定に戻す方法

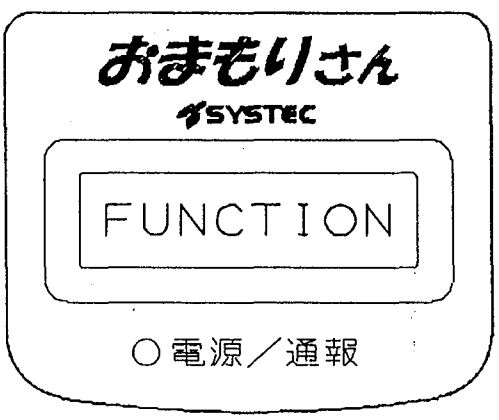
1）本体のパニックボタンを押して下さい。「Ｆ１５＞ＣＬＲ」表示が消え、下図のように「ＥＲＡＳＥ－ＯＫ」と、点滅表示されます。再度パニックボタンを押すと、今までの設定がすべて消去され、出荷時の設定に戻ります。



★ＥＲＡＳＥ－ＯＫと表示されているときにキャンセルする方法

1）誤って本体のパニックボタンを押し、「ＥＲＡＳＥ－ＯＫ」と、点滅表示させてしまった場合は本体十字ボタンの上ボタンもしくは、下ボタンを押して下さい。別の設定画面に切り替わり、設定消去をキャンセルできます。

⑯　本体の液晶パネル部に下図のような表示がされていることを確認して下さい。



◇以上で本製品の設定は完了です。ここまでで設定してきた内容に間違いがないことを再度本体十字ボタンの上下ボタンを押して確認して下さい。間違いがあった場合は設定内容を正しく変更して下さい。上記のように本体の液晶パネル部に「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させ、本体のパニックボタンを押して下さい。設定画面から監視状態に切り替わります。

※設定変更したまたは、設定画面から警報・監視画面に切り替え時は必ず、本体の液晶パネル部に「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させてから本体のパニックボタンを押して設定画面から警報・監視画面に切り替えて下さい。また、設定変更した場合は変更内容を本体に記憶させるため必ず「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させてから本体のパニックボタンを押して設定画面から警報・監視画面に切り替えて下さい。

※設定変更中にコンセントからＡＣアダプタを抜きますと、設定情報が本体に記憶されていないため、再度ＡＣアダプタをコンセントに差し込んだ時には設定変更する前の状態で動作します。

◆設定例◆

簡単な使用例をご紹介します。ご参考にして下さい。

設定例１

★センサーを使用しないで、パニックボタンからの緊急通報のみを使用し、電話を使っての外部連絡を行わない場合。

手順　１）本体に接続されているセンサーおよび、モジュラーケーブルを外す。
センサーの取り外し方の詳細は１２ページの「センサーの取り外し方法」をご参照下さい。モジュラーケーブルはツメ部を押しながら引き抜いて下さい。

手順　２）アース線を接続・設置する。
アース線の接続および設置方法の詳細は１５ページの「アース線の接続・設置方法」をご参照下さい。

手順　３）本体を設置する。
本体の設置方法の詳細は１１ページ～１２ページの「本体設置方法」をご参照下さい。

手順　４）本体ＡＣアダプタを接続し、コンセントに差し込んで下さい。

手順　５）本製品の設定内容を変更する。
本体の液晶パネルに「Ｓ１．Ｓ２．　　.」と点滅表示され、ブザーが約３０秒間鳴ります。この動作は異常ではありません。本製品の異常の判断が違っているために起こったことです。本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを１秒以上押し続け、本体の液晶パネルに「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させ、ファンクションＮｏ．０５およびＮｏ．０７の設定を「Ｂ」から「Ａ」に設定を変更して下さい。
詳細は２０ページ～２２ページの内容をご参照下さい。

手順 ６）本製品を監視状態にする。
ファンクションＮｏ．０５およびＮｏ．０７の設定を変更し終えましたら、本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを押し、本体の液晶パネルに「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させて、本体のパニックボタンを１回押し、本体の液晶パネルに「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と表示されていることを確認して下さい。

手順 ７）本製品の動作を確認する。
本体のパニックボタンを押してブザーが約３０秒間鳴ることを確認して下さい。

設定例２

★１人暮らしをしているので、ドアにセンサーを設置し、外出時に侵入者等の有無を監視したい。ブザーは鳴らさず、電話を使って通報を実家と自分の持っている携帯電話の２ヶ所にしたい

手順　１）本体に電話回線の接続をし、次に本体に接続されているモジュラーケーブルを現在お使いの電話機に接続する。
現在お使いの電話機からモジュラーケーブルを取り外して、本体の「ＬＩＮＥ」に接続します。詳細は９ページの「各部名称」をご参照下さい。モジュラーケーブルを外すときはツメ部を押しながら引き抜いて下さい。

手順　２）本体に接続されているセンサーをドアに設置する。
センサーの設置方法の詳細は１２ページ～１４ページの「センサー設置方法」をご参照下さい。

手順　３）アース線を接続・設置する。
アース線の接続および設置方法の詳細は１５ページの「アース線の接続・設置方法」をご参照下さい。

手順　４）本体を設置する。
本体の設置方法の詳細は１１ページ～１２ページの「本体設置方法」をご参照下さい。

手順　５）本体ＡＣアダプタを接続し、コンセントに差し込んで下さい。
センサーを接続されている場合はセンサー同士を離さないでＡＣアダプタをコンセントに差し込んで下さい。センサー同士が離れていますと監視直後に異常状態であると判断します。

手順　６）本製品の設定内容を変更する。
本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを１秒以上押し続け、本体の液晶パネルに「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させ、各設定を変更して下さい。
詳細は１６ページの「動作設定方法」をご参照下さい。

手順　７）ファンクションＮｏ．０１の設定内容を確認・変更する。
詳細は１７ページの「電話発信方式の選択」をご参照下さい。

手順　８）ファンクションＮｏ．０２とＮｏ．０３に通報先電話番号を登録する。
ファンクションＮｏ．０２に実家の電話番号を、ファンクションＮｏ．０３に自分の携帯電話番号を登録します。
詳細は１８ページ～２０ページの「通報先電話番号の登録」をご参照下さい。
※通報の順番はＮｏ．０２→Ｎｏ．０３→Ｎｏ．０４の順序で行います。

手順　９）ファンクションＮｏ．１０の設定を「５．０Ｍ」に変更する。
詳細は２４ページの「監視を始めるまでの時間設定」をご参照下さい。
※例えば玄関にセンサーを設置される場合、監視状態にして、外出しようとドアを開けた瞬間に異常通報を始めてしまいます。そこで、この設定を「５．０Ｍ」に変更しますと、監視状態になってから約５分はセンサーの異常判断をしませんので、監視状態にしてから玄関を開けて外出されても異常通報が入らずにすみます。

手順１０）ファンクションＮｏ．１１の設定を「１．０Ｍ」に変更する。
詳細は２５ページの「通報するまでの時間設定」をご参照下さい。
※例えば玄関にセンサーを設置される場合、監視状態にして、外出から帰ってきたときドアを開けた瞬間に異常通報を始めてしまいます。そこで、この設定を例えば「１．０Ｍ」に変更しますと、センサーが異常判断をしても約１分は通報もしくはブザーを鳴らしません。この間に本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを１秒以上押し続け、本体の液晶パネルに「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させる、もしくは、コンセントからＡＣアダプタを抜いて監視状態を解除して下さい。そうすることによりセンサーの異常は通報されません。

手順１１）ファンクションＮｏ．１２の設定を「ＯＦＦ」に変更する。
詳細は２６ページの「異常感知時にブザーを鳴らすか、鳴らさないかの設定」をご参照下さい。
※この設定を「ＯＦＦ」にする事により、ブザーは鳴りません。

手順１２）本製品を監視状態にする。
手順　７）～手順　１１）までの設定が終わりましたら再度、設定内容の確認をしていただき、間違いがあった場合は設定内容を正しく変更して下さい。確認後本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを押し、本体の液晶パネルに「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させて、本体のパニックボタンを１回押し、本体の液晶パネルに「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と表示されていることを確認して下さい。

手順１３）本製品の動作を確認する。
センサーを設置したドアを開閉して設定通りに動くことを確認して下さい。

★お年寄りと同居していて、おまもり機能（ファンクションＮｏ．１４）を使用したい。
お年寄りの部屋におまもりさんを設置するため、パスワードを設定し、誤動作防止をしたい。
ドアにセンサーを設置し、電話を使って自分の持っている携帯電話に通報し、なおかつ
ブザーを鳴らして、異常を知りたい。

手順　１）本体に電話回線の接続をし、次に本体に接続されているモジュラーケーブルを
現在お使いの電話機に接続する。
現在お使いの電話機からモジュラーケーブルを取り外して、本体の「ＬＩＮＥ」に
接続します。詳細は９ページの「各部名称」をご参照下さい。モジュラーケーブルを
外すときはツメ部を押しながら引き抜いて下さい。

手順　２）本体に接続されているセンサーをドアに設置する。
センサーの設置方法の詳細は１２ページ～１４ページの「センサー設置方法」を
ご参照下さい。

手順　３）アース線を接続・設置する。
アース線の接続および設置方法の詳細は１５ページの「アース線の接続・設置方法」
をご参照下さい。

手順　４）本体を設置する。
本体の設置方法の詳細は１１ページ～１２ページの「本体設置方法」をご参照下さい。

手順　５）本体ＡＣアダプタを接続し、コンセントに差し込んで下さい。
センサーを接続されている場合はセンサー同士を離さないでＡＣアダプタを
コンセントに差し込んで下さい。センサー同士が離れていますと監視直後に異常状態
だと判断します。

手順　６）本製品の設定内容を変更する。
本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを１秒以上押し続け、本体の液晶パネルに
「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させ、各設定を変更して下さい。
詳細は１６ページの「動作設定方法」をご参照下さい。

手順　７）ファンクションＮｏ．０１の設定内容を確認・変更する。
詳細は１７ページの「電話発信方式の選択」をご参照下さい。

手順　８）ファンクションＮｏ．０２に通報先電話番号を登録する。
ファンクションＮｏ．０２に自分の携帯電話番号を登録します。
詳細は１８ページ～２０ページの「通報先電話番号の登録」をご参照下さい。

手順　９）ファンクションＮｏ．１３の設定を変更する。
詳細は２７ページ～２８ページの「パスワードの設定」をご参照下さい。

手順　１０）ファンクションＮｏ．１４の時間設定をする。
詳細は２９ページ～３０ページの「おまもり機能の設定」をご参照下さい。
※例えば「３：００」に設定しますと、３時間の間にセンサーの反応や、
本体のパニックボタンが押されなかった場合に通報先に通報し、ブザーを鳴らして
お知らせします。

手順　１１）本製品を監視状態にする。
手順　７）～手順　１０）までの設定が終わりましたら再度、設定内容の確認を
していただき、間違いがあった場合は設定内容を正しく変更して下さい。確認後
本体十字ボタンの上下ボタンのどちらかを押し、本体の液晶パネルに
「ＦＵＮＣＴＩＯＮ」と表示させて、本体のパニックボタンを１回押し、本体の
液晶パネルに「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」と表示されていることを確認して下さい。

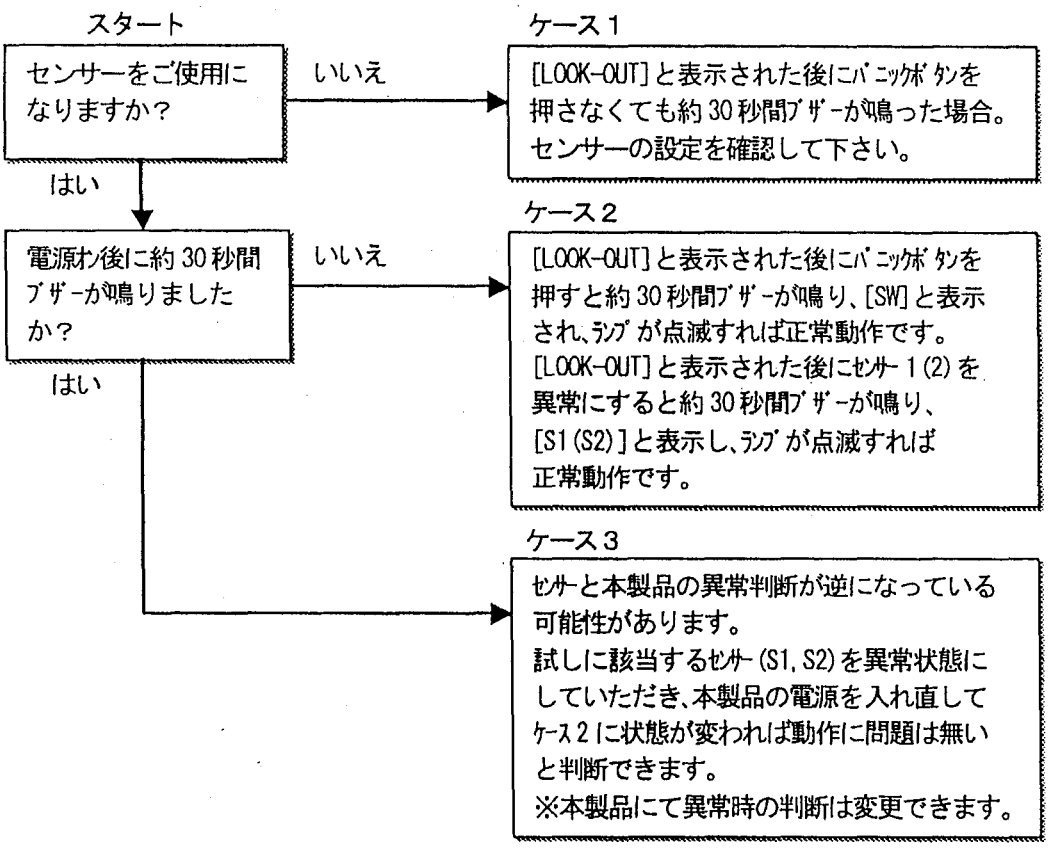
手順　１２）本製品の動作を確認する。
センサーを設置したドアを開閉したり、本体のパニックボタンを押したりして設定
通りに動くことを確認して下さい。

◆故障かな？と思ったら◆

◆電源を入れてみましょう。

センサーを接続されている場合は正常状態にしていただき、本製品のＡＣアダプタをコンセントに差し込みます。

次の質問にお答え下さい。



【補足】本製品の出荷時設定は設定Ｂとなっています。センサー未使用時は設定Ａに設定して下さい。異常監視の開始直後に異常と判断してしまいます。センサーを使用しないまたは、設定Ａにて構成を検討された場合は、ファンクションＮｏ．５またはＮｏ．７の設定をＡに変更して下さい。詳細は２０ページ～２２ページをご参照下さい。

設定Ａ：標準マグネットセンサーのマグネットがくっついている状態を「異常」、離れている状態を「正常」と判定するときに設定します。

設定Ｂ：標準マグネットセンサーのマグネットがくっついている状態を「正常」、離れている状態を「異常」と判定するときに設定します。

※正常に動作が行われていない場合は、もう一度センサーの接続をご確認下さい。また、各種端子には、本製品の故障を防ぐ保護回路を内蔵していますが、万一、煙や異臭音を感じた時は、安全を確認後、すぐにＡＣアダプタをコンセントから抜いてご使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせ下さい。
詳細は１ページの「安全のために」をご覧ください。

症状	考えられる原因	対処
通報先に通報されない	モジュラーケーブルの接続が間違っている	９ページ～１０ページを参照しながら接続を確認して下さい。
	電話発信方式の設定が間違っている	１７ページを参照しながら設定を変更して下さい。
	通報先の電話番号登録が間違っている	１８ページ～２０ページを参照しながら登録内容を確認して下さい。
センサーが思い通りに働かない	センサーと本製品の異常判断が違っている。	２０ページ～２２ページを参照しながら設定を変更して下さい。
ブザーが鳴らない	ファンクションＮｏ．１２の設定が「ＯＦＦ」になっている	２６ページを参照しながら設定を変更して下さい。

◆停電したら・・・◆

通報中または、設定内容の変更中に停電が発生すると、その時までの通報情報および、設定変更していた内容がすべて消去されてしまいます。また、停電中は異常を監視することができませんのでご了承下さい。設定変更される前の設定内容は本体に記憶されていますので、復旧後再度設定変更をして下さい。復帰時、本製品は監視を再開します。

◆本体液晶パネルの表示◆

本体の液晶パネルに「ＳＥＴ－ＵＰ」と表示されたまま「ＬＯＯＫ－ＯＵＴ」にならない場合または、「ＥＲＲＯＲ－＊＊（＊＊：０１～０４までの数字)」が表示されている場合は設定が間違っている、または、本製品の故障が考えられます。
詳細は下記の「エラーメッセージ一覧」をご参照の上対応して下さい。

◆エラーメッセージ一覧◆

項目	説　明	対処
ＥＲＲＯＲ－０１	ファンクションＮｏ．０２～０４の「通報先の登録」がなく、なおかつ、ファンクションＮｏ．１２のブザーの設定を「ＯＦＦ」に設定されている場合。	通報先を登録するまたは、ブザーを「ＯＮ」に設定して下さい。
ＥＲＲＯＲ－０２	ファンクションＮｏ．０２～０４の「通報先の登録」をされているのに、本体の「ＬＩＮＥ」にケーブルが接続されていない。	９ページの「各部名称」を参考に、モジュラーケーブルを接続して下さい。
ＥＲＲＯＲ－０３	本製品の故障と考えられますので、お買い上げ販売店、または当社お客様相談室までご連絡下さい。	保証書をご確認下さい。
ＥＲＲＯＲ－０４	本製品の故障と考えられますので、お買い上げ販売店、または当社お客様相談室までご連絡下さい。	保証書をご確認下さい。
ＳＥＴ－ＵＰ	本メッセージのまま画面が変わらなかった場合は本製品の故障と考えられますので、お買い上げ販売店、または当社お客様相談室までご連絡下さい。	保証書をご確認下さい。

◆表示メッセージ一覧◆

ﾌｧﾝｸｼｮﾝNO.	名　称	説　　明	備　考
FUNCTION	モード切替画面	[FUNCTION] この状態でパニックボタンを押下すると警報監視モードへ移行します。	
F01	ダイヤル方式設定	[F01>DP／PB] 電話回線の発信方式を選択します。	出荷時［F01>DP］
F02	通報先電話番号 NO. 1設定	[F02>＊＊＊＊] 通報先NO. 1電話番号を登録します。 （入力桁数：最大16桁まで）	出荷時［F02>　　］ （通報先登録ナシ）
F03	通報先電話番号 NO. 2設定	[F03>＊＊＊＊] 通報先NO. 2電話番号を登録します。 （入力桁数：最大16桁まで）	出荷時［F03>　　］ （通報先登録ナシ）
F04	通報先電話番号 NO. 3設定	[F04>＊＊＊＊] 通報先NO. 3電話番号を登録します。 （入力桁数：最大16桁まで）	出荷時［F04>　　］ （通報先登録ナシ）
F05	センサー1 監視異常状態設定	[F05>A／B] センサー1異常時の論理 （A接点／B接点）を選択します。	出荷時［F05>B］
F06	センサー1 異常判定時間設定	[F06>0. 1S／1. 0S／5. 0S] ｾﾝｻｰ1異常と判断する時間を選択します。	出荷時［F06>1. 0S］
F07	センサー2 監視異常状態設定	[F07>A／B] センサー2異常時の論理 （A接点／B接点）を選択します。	出荷時［F07>B］
F08	センサー2 異常判定時間設定	[F08>0. 1S／1. 0S／5. 0S] ｾﾝｻｰ2異常と判断する時間を選択します。	出荷時［F08>1. 0S］
F09	リダイヤル設定	[F09>OFF／ON] 監視異常に対して通報の2重化を行うか選択します。	出荷時［F09>OFF］
F10	警報監視保留 タイマー設定	[F10>OFF／5. 0M] 警報監視モード移行時にタイマーを使用するか選択します。	出荷時［F10>OFF］
F11	通報開始保留 タイマー設定	[F11>OFF／1. 0M／3. 0M] 監視異常の通報時にタイマーを使用するか選択します。	出荷時［F11>OFF］
F12	ブザー出力設定	[F12>OFF／ON] 監視異常時にブザー出力を行うか選択します。	出荷時［F12>ON］
F13	パスワード設定	[F13>　　] 動作設定モード移行時にパスワード要求を行うか選択・登録します。 （十字ボタンによる4桁のパターン）	出荷時［F13>　　］ （パスワード設定ナシ）
F14	おまもり機能	[F14>　：　] 設定時間内にｾﾝｻｰまたはﾊﾟﾆｯｸﾎﾞﾀﾝの反応が無い場合、通報先に通知する。 通常は[OFF]を選択します。	出荷時［F14>］ （設定ナシ）
F15	設定情報初期化	[F15>CLR] 本機の設定状態を出荷時に戻します。	

◆通報メッセージ一覧◆

項目	通報内容
センサー１	ピンポン、おまもりさんからのお知らせです。１番のセンサーが異常になりました。
センサー２	ピンポン、おまもりさんからのお知らせです。２番のセンサーが異常になりました。
パニックボタン	ピンポン、おまもりさんからのお知らせです。緊急ボタンが押されました。
おまもり機能	ピンポン、おまもりさんからのお知らせです。ピンポン、おまもりさんからのお知らせです。

◆仕　様◆

本製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

項　目	説　　明
本体寸法・質量	約８５mm(W)ｘ１４２mm(D)ｘ３９．５mm(H)・約１７０ｇ
電　　源	ＡＣアダプタ ＡＣ１００Ｖ±１０％　５０／６０Ｈｚ
消費電力	約２．７Ｗ
環境条件	動作温度　５～４０℃　湿度　２０～８０％（結露しないこと） 保管温度　－２０～６０℃